

- 問1 1895年に起こった「三国干渉」の概要と、その後の日本国内の動向についての説明として正しいものはどれか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- 日清戦争の直前にロシア・ドイツ・フランスが日本に宣戦布告した出来事であり、日本は北里柴三郎らの医学的貢献を背景に国際世論の支持を得た。
 - ロシア・ドイツ・フランスの3国が遼東半島の返還を要求した出来事であり、日本は国力不足からこれを受け入れ、ロシアへの対抗意識を強めた。
 - イギリス・アメリカ・ロシアの3国が日本の韓国併合を批判した出来事であり、日本は国際的に孤立し、他国との同盟を模索するようになった。
 - 清が主導してヨーロッパ諸国と協力し日本に賠償金を求めた出来事であり、日本は二十一か条の要求を出してこれに反論した。
- 問2 1894年に日本がイギリスと日英通商航海条約を締結し、領事裁判権の撤廃を実現できた背景として、当時の日本の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法の発布などの国内法の整備が進み、近代国家としての体裁が整ったこと。
 - ノルマントン号事件をきっかけに、国民の間で不平等条約改正を求める反対運動が終息したこと。
 - 日露戦争の勝利によって、欧米列強と同等の軍力を持つと認められたこと。
 - アメリカとの交渉において、関税自主権を完全に回復させる合意が先になされていたこと。
- 問3 1894年に始まった日清戦争の講和条約である下関条約の内容について、正しい説明をしたものを選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- アメリカの仲介によって締結され、日本が山東半島の権益を清から引き継いだ。
 - 清に朝鮮の独立を認めさせるとともに、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本へ譲り渡した。
 - ロシアから北緯50度以南の樺太を譲り受け、大韓帝国に対する指導権を日本が持つことを認めさせた。
 - 清から巨額の賠償金を得る代わりに、日本は領土の要求をすべて破棄した。
- 問4 明治時代、フランスの思想家ルソーの著書を翻訳・紹介し、「東洋のルソー」と呼ばれた人物は誰ですか。この人物は自由民権運動の理論的指導者として、人々に大きな影響を与えました。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- 中江兆民
 - 平塚らいてう
 - 福沢諭吉
 - 芥川龍之介
- 問5 西南戦争が起こった背景とその後の影響について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- 徴兵令などで特権を失った士族が武力で抵抗したが、政府軍に敗れたことで、反政府運動は言論による自由民権運動へと移り変わった。
 - 廃藩置県によって領地を失った大名たちが西郷隆盛を中心に結集したが、徴兵制による農民兵に敗れたことで、封建的な身分制度が復活した。
 - 地租改正に反対する農民と士族が共同で蜂起したが、最新兵器を持つ政府軍に城山で敗れたため、これ以降は減税を求める運動が途絶えた。
 - 戊辰戦争で敗れた旧幕府軍の残党が鹿児島に集結したが、城山の戦いで敗北したことで、江戸幕府を再興する動きは完全に消滅した。
- 問6 大日本帝国憲法下の統治体制において、立法権を担う帝国議会は構成していた二つの議院の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 衆議院と参議院
 - 元老院と衆議院
 - 立憲政友会と憲政本党
 - 衆議院と貴族院
- 問7 明治時代、文明開化の流れの中で日本の伝統的な美術も大きな変革期を迎えました。この時代、岡倉天心らとともに活動し、西洋画の技法を積極的に取り入れることで、伝統的な手法に縛られない新しい日本画の表現を追求した人物は誰ですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- 東洲斎写楽
 - 横山大観
 - 雪舟
 - 菱川師宣
- 問8 1895年に結ばれた日清戦争の講和条約である下関条約において、一度は日本への割譲が決定したものの、その直後にロシア・ドイツ・フランスによる強い要求を受け、清に返還することになった地域はどこですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- 台湾
 - 遼東半島
 - 千島列島
 - 澎湖諸島
- 問9 1875年に日本とロシアの間で「樺太・千島交換条約」が結ばれた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- ロシアとの領土紛争を未然に防ぎ、北方の国境を画定させて国内の改革に専念するため。
 - 北海道の開拓を中止し、その予算を対外的な軍備増強に充てるため。
 - 江戸時代から続くロシアとの不平等条約を改正し、関税自主権を回復するため。
 - 日露戦争に勝利した結果として、新たな領土を獲得し東アジアでの影響力を強めるため。
- 問10 明治政府が実施した教育制度や選挙制度について述べた文として、正しい内容のものを次の中から選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法の下での最初の衆議院議員選挙では、25歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。
 - 国民皆学を目指して学制が公布され、身分や男女の区別なく教育を受けさせようとした。
 - 最初に行われた選挙では、直接国税を一定額以上納めているならば女性でも投票することができた。
 - 学制の公布と同時に、それまでの太陽暦を廃止して新たに太陰暦を採用した。
- 問11 明治時代の産業発展において、群馬県の富岡製糸場などに導入され、日本の生糸生産に革新をもたらした技術的特徴について、正しい説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- イギリスから輸入した蒸気船を活用し、沿岸部での生糸生産を活性化させた
 - 国内消費を目的とした低価格な生糸を生産するため、あえて古い設備を使い続けた
 - 人力による座繰り器を改良することで、家庭内での手作業による生産を維持した
 - フランス式繰糸機などを導入して機械化を図り、複数の糸を同時に生産した
- 問12 19世紀のドイツの思想家で、産業革命にともなって生じた資本家と労働者の貧富の格差などの社会問題を解決しようとし、資本主義を批判して社会主義の理論を体系化した人物は誰ですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- マルクス
 - ルソー
 - モンテスキュー
 - アダム・スミス
- 問13 1893年から1899年にかけての綿糸の動向として、国内生産量と輸出量が急増し、1897年頃に輸出量が輸入量を上回る結果となった背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- 政府による「殖産興業」の政策により、富岡製糸場などの官営模範工場での生産が最も盛んになった時期だから。
 - 安価な原料の輸入や、蒸気機関を用いた大規模な機械制生産が普及したことで、国際競争力が高まったから。
 - 日米修好通商条約によって認められていた関税自主権を回復し、輸入品に対して高い関税をかけたから。
 - 日清戦争の賠償金をもとに官営の八幡製鉄所が設立され、重化学工業の輸出が優先されたから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ロシア・ドイツ・フランスの3国が遼東半島の返還を要求した出来事であり、日本は国力不足からこれを受け入れ、ロシアへの対抗意識を強めた。	日清戦争で勝利した日本は下関条約で遼東半島を獲得しましたが、ロシア・ドイツ・フランスの3国は東アジアの勢力均衡を理由に返還を要求しました。当時の日本にはこれら3国と戦う力はなく、要求を受け入れざるを得ませんでした。この経験から、日本国内では「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」という言葉が流行し、ロシアを仮想敵国とした軍備拡張が進むこととなりました。
問2	答え 1 大日本帝国憲法の発布などの国内法の整備が進み、近代国家としての体裁が整ったこと。	欧米諸国が条約改正に応じる条件の一つとして、日本の法制度が自国と同程度に整備されていることがありました。1889年の大日本帝国憲法発布やその後の民法・刑法などの整備により、日本が近代的な法治国家としての実態を備えたことが、イギリスが領事裁判権の撤廃に応じる大きな要因となりました。日露戦争の勝利はこれより後の出来事であり、関税自主権の回復はさらに後の1911年です。
問3	答え 2 清に朝鮮の独立を認めさせるとともに、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本へ譲り渡した。	日清戦争に勝利した日本は、1895年に清の全権である李鴻章と日本の伊藤博文らの間で下関条約を締結しました。この条約の主な内容は、清が朝鮮の独立を認めること、日本へ遼東半島・台湾・澎湖諸島を割譲すること、そして多額の賠償金を支払うことの3点です。なお、遼東半島については直後にロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受け、清に返還することとなりました。
問4	答え 1 中江兆民	中江兆民は、フランス留学で学んだルソーの『社会契約論』を漢文に翻訳した『民約訳解』を出版しました。この本を通じて、主権が国民にあるという考え方を日本に広めたことで、板垣退助らによる自由民権運動が、単なる政府批判にとどまらず、国民の権利や自由を求める論理的な運動へと発展するきっかけとなりました。
問5	答え 1 徴兵令などで特権を失った士族が武力で抵抗したが、政府軍に敗れたことで、反政府運動は言論による自由民権運動へと移り変わった。	士族は徴兵令や刀を差す権利の喪失などに強い不満を抱いていました。しかし、西南戦争において平民を中心とした徴兵軍に武力で敗北したことで、力による対抗の限界を悟りました。これにより、政府への批判は国会の開設などを求める言論による運動（自由民権運動）へと主流が移っていくこととなります。
問6	答え 4 衆議院と貴族院	大日本帝国憲法下の帝国議会は二院制を採用しており、選挙によって選出された議員で構成される衆議院と、皇族・華族・勅任議員（天皇から任命された者）などで構成される貴族院の二つが置かれました。現在の国会を構成する「参議院」は、戦後の日本国憲法において貴族院に代わって設置されたものです。
問7	答え 2 横山大観	明治時代には、欧米の文化が流入する一方で、日本の伝統文化を見直す動きも現れました。岡倉天心に師事した横山大観は、それまでの日本画にはなかった西洋画的な色彩感覚や空間表現（「朦朧体」と呼ばれる描法など）を試み、近代における新しい日本画のあり方を確立しました。選択肢にある雪舟は室町時代の水墨画家、東洲斎写楽と菱川師宣は江戸時代の浮世絵師であり、活躍した時代が異なります。
問8	答え 2 遼東半島	下関条約によって日本は遼東半島、台湾、澎湖諸島を領有することになりました。しかし、東アジアへの進出を狙っていたロシアがドイツ・フランスを誘って日本に圧力をかけた「三国干渉」により、日本は遼東半島の領有を断念し、清に返還しました。
問9	答え 1 ロシアとの領土紛争を未然に防ぎ、北方の国境を画定させて国内の改革に専念するため。	当時の日本は明治維新の直後であり、廃藩置県や学制・兵制の整備など国内の改革が山積みでした。大国であるロシアとの間で領土問題がこじれて紛争に発展することを避けるため、樺太の権利を手放す代わりに千島列島を確保するという妥協案によって、平和的に国境を確定させる外交政策がとられました。この条約により、北海道周辺の安全が確保され、開拓使による北海道の開発が本格化していくこととなります。
問10	答え 2 国民皆学を目指して学制が公布され、身分や男女の区別なく教育を受けさせようとした。	1872年に公布された学制は、富国強兵を支える国民の育成を目的とし、身分や性別に関わらず全ての子供が小学校教育を受けることを義務付けようとししました。一方、当時の選挙権は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」にのみ限定されており、暦についても明治初期に太陰暦から太陽暦へと切り替えられています。
問11	答え 4 フランス式繰糸機などを導入して機械化を図り、複数の糸を同時に生産した	1872年に設立された官営の富岡製糸場では、フランスの技術を取り入れた繰糸機が導入されました。これにより、それまでの手作業による1本ずつの生産から、動力を用いた機械による複数同時の生産へと転換されました。この「機械化」の仕組みは、均一で高品質な生糸の「大量生産」を可能にし、日本の主要な輸出産業を確立させる基盤となりました。
問12	答え 1 マルクス	産業革命が進むと、工場や機械を持つ資本家が富を蓄える一方で、雇われる労働者は低賃金・長時間労働という過酷な状況に置かれ、深刻な格差が社会問題となりました。ドイツのマルクスは、この仕組みを分析して資本主義を批判し、生産手段を社会で共有する社会主義（共産主義）の考えをまとめ、後の社会運動や歴史に大きな影響を与えました。
問13	答え 2 安価な原料の輸入や、蒸気機関を用いた大規模な機械制生産が普及したことで、国際競争力が高まったから。	1890年代に日本の綿糸が輸出超過となった背景には、紡績業における技術革新があります。1890年代半ばには綿花の輸入関税が撤廃され、インド産の安価な綿花を原料として利用できるようになったことや、蒸気機関を動力とする大規模な工場での効率的な生産が可能になったことが、日本製品の価格競争力を高め、アジア市場への進出を後押ししました。